

# だより クラボウ便

## ～株主の皆様へ～



今回より、リニューアルした株主通信を「クラボウ便<sup>だより</sup>」として、株主の皆様へお届けいたします。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。クラボウグループの第217期中間連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)における事業活動の概況をご報告いたします。

取締役社長 西垣伸二

### 経営理念

私たちクラボウグループは、新しい価値の創造を通じてより良い未来社会づくりに貢献します。

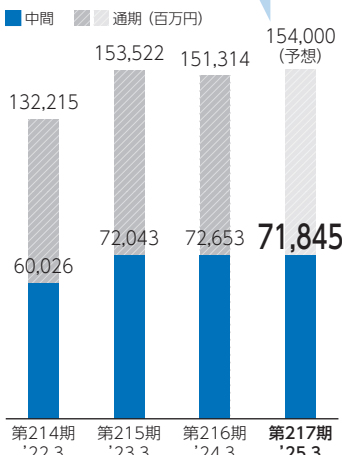
## 連結ハイライト

最終年度を迎えた中期経営計画「Progress'24」（2022年度-2024年度）の基本方針である「高収益事業の拡大と持続可能な成長に向けた基盤事業の強化」のもと、半導体製造関連や機能フィルムといった成長・注力事業の業容拡大と繊維や軟質ウレタンをはじめとする基盤事業の収益力強化などに注力しました。この結果、売上高は前年同期に比べ若干の減収となったものの、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益はいずれも前年同期に比べ増益となりました。

### 売上高

718 億円

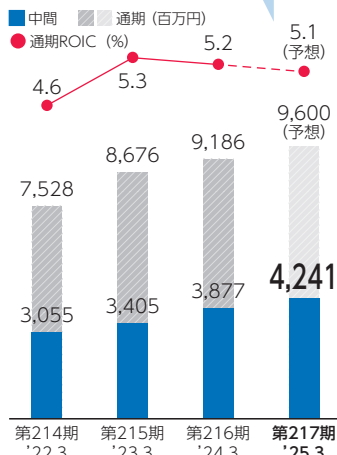
前年同期比 1.1%減 ↓



### 営業利益

42億4千万円

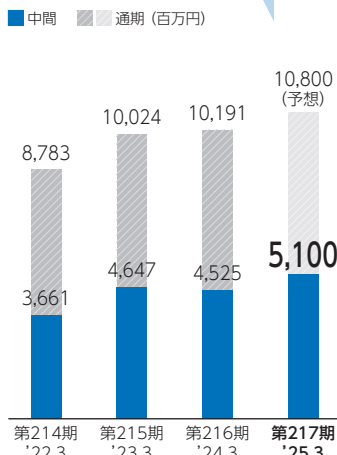
前年同期比 9.4%増 ↑



### 経常利益

51 億円

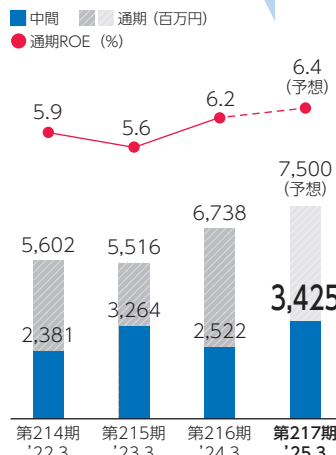
前年同期比 12.7%増 ↑



### 親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益

34億2千万円

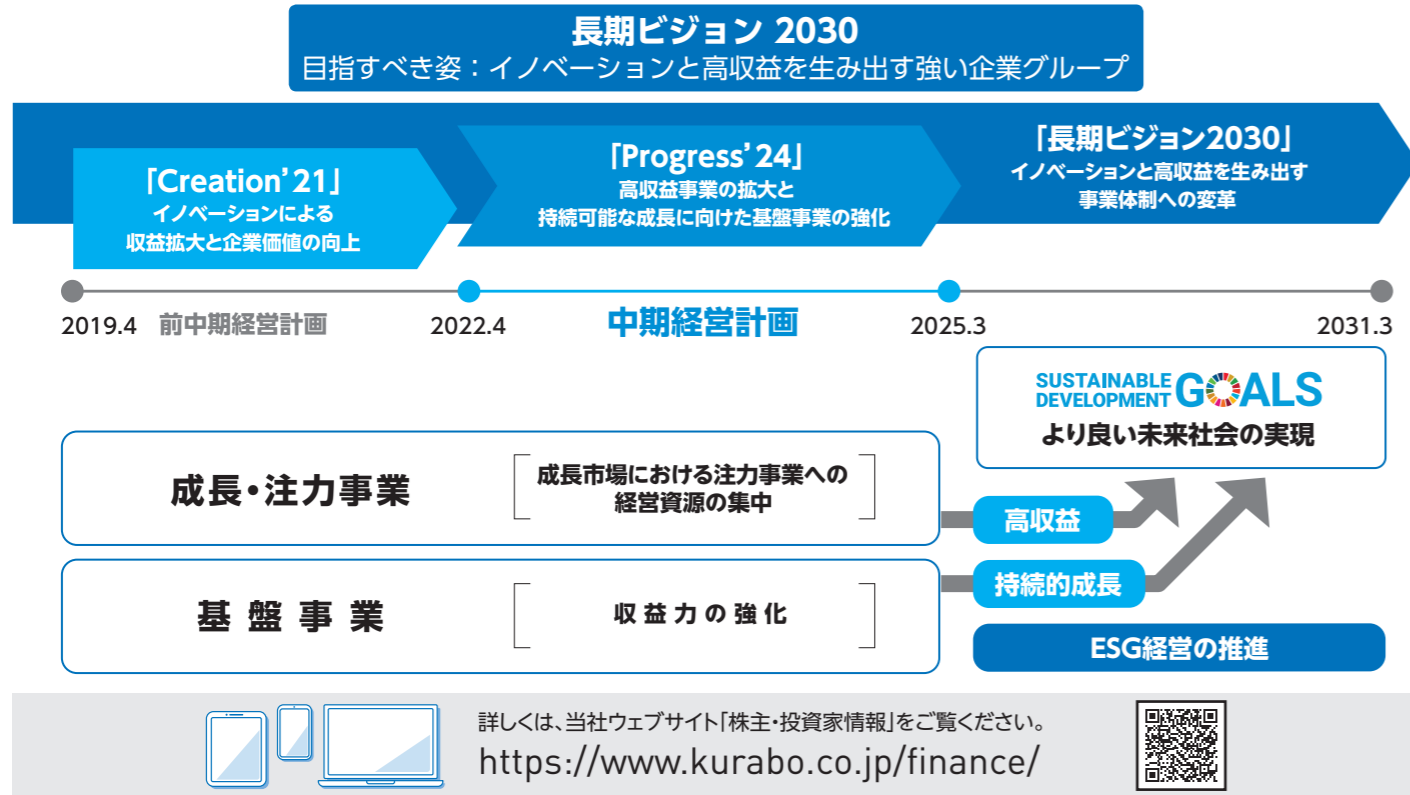
前年同期比 35.8%増 ↑



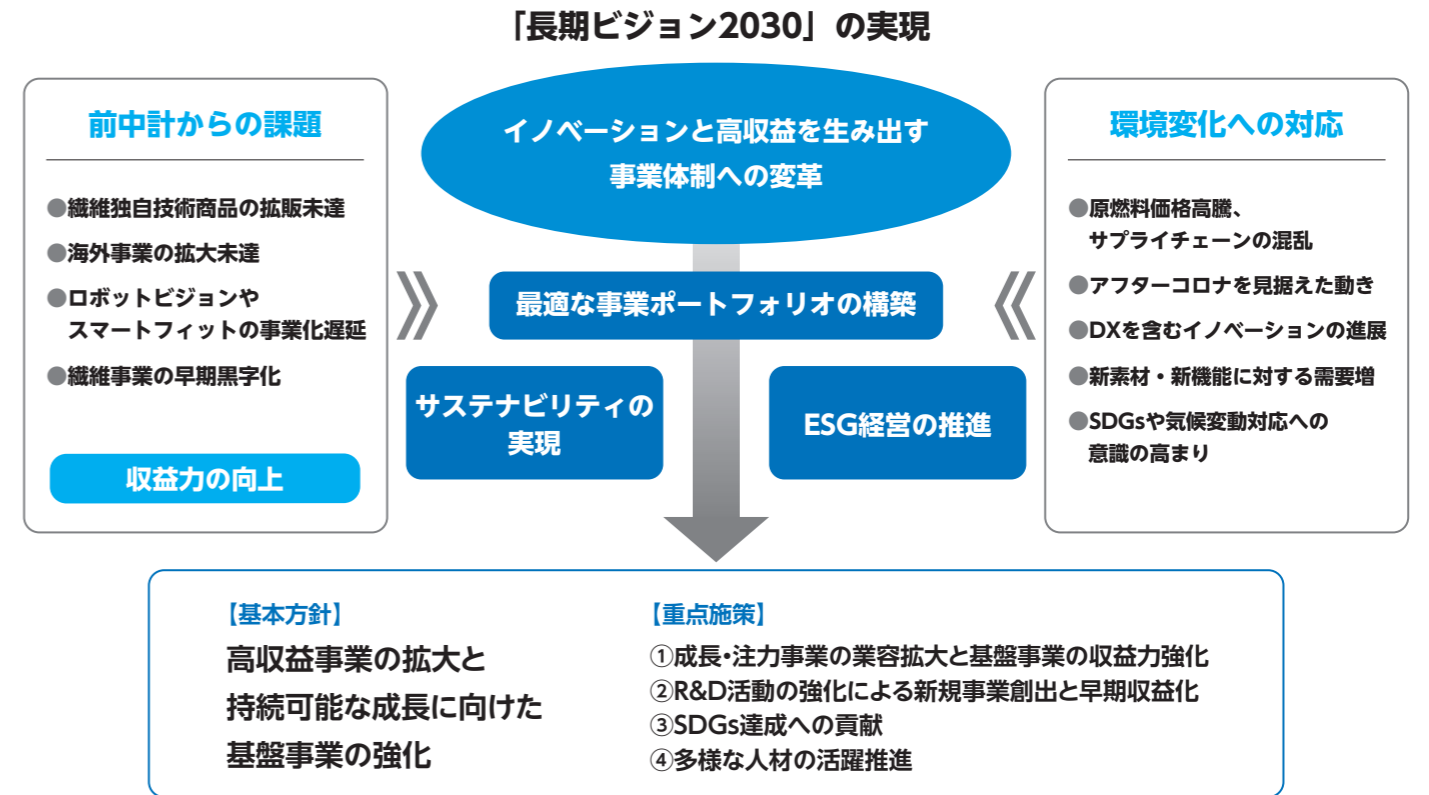


# 長期ビジョンと中期経営計画「Progress '24」

## 長期ビジョンにおける位置付け



## 中期経営計画「Progress '24」の方向性



## 事業別の概況

### 繊維事業

売上高構成比  
32.9%

糸は、国内インナー向け等は前年同期並みに推移しましたが、ブラジル子会社とタイ子会社の販売が堅調に推移し、増収となりました。テキスタイルは、国内、中国子会社ともにカジュアル素材の受注が減少し、減収となりました。繊維製品は、暑熱環境下におけるリスク低減の管理システム「Smartfit（スマートフィット）」は販売が増加しましたが、カジュアル向け製品の受注が減少し、減収となりました。この結果、売上高は236億円（前年同期比4.2%減）、営業利益は3千万円（前年同期は営業損失3億7千万円）となりました。



売上高 **236億円**  
(前年同期比 4.2%減)

営業利益 **3千万円**  
(前年同期 営業損失3億7千万円)

### 化成品事業

売上高構成比  
45.4%

軟質ウレタンは、自動車内装材向けの受注が、中国子会社では低調に推移したものの、国内では自動車生産の回復などに伴い順調で、原料価格や労務費の価格転嫁も進めた結果、増収となりました。機能樹脂製品は、半導体製造装置向け高性能樹脂製品の受注が回復し、また、太陽電池向け機能フィルムの受注が好調で、増収となりました。住宅用建材は、断熱材の販売が低調に推移しましたが、集合住宅向けプレキャストコンクリート製品の受注が増加し、増収となりました。不織布は、前年同期並みとなりました。この結果、売上高は325億円(前年同期比11.4%増)、営業利益は23億1千万円(同41.8%増)となりました。



売上高 **325億円**  
(前年同期比 11.4%増)

営業利益 **23億1千万円**  
(前年同期比 41.8%増)

### 環境メカトロニクス事業

売上高構成比  
12.3%



売上高 **88億円**  
(前年同期比 27.9%減)

営業利益 **10億5千万円**  
(前年同期比 34.9%減)

エレクトロニクスは、半導体業界向け液体成分濃度計が好調に推移しましたが、子会社のウェハー洗浄装置の販売台数が減少し、減収となりました。エンジニアリングは、半導体業界向け薬液供給装置が低調に推移しましたが、排ガス処理設備などが順調で、また、子会社でも産業設備の大型案件があり、増収となりました。バイオメディカルは、攪拌脱泡装置などが堅調で、前年同期並みとなりました。この結果、前期に工作機械等の製造販売を行っていた子会社の全株式を譲渡した影響もあり、売上高は88億円（前年同期比27.9%減）、営業利益は10億5千万円（同34.9%減）となりました。

### 食品・サービス事業

売上高構成比  
6.8%



売上高 **48億円**  
(前年同期比 7.8%増)

営業利益 **2億1千万円**  
(前年同期比 20.1%減)

食品は、成型スープの販売が低調に推移しましたが、即席麺具材などは順調で、増収となりました。ホテル関連は、好調な国内旅行やインバウンド需要の影響により宿泊やレストランが順調で増収となりました。この結果、売上高は48億円（前年同期比7.8%増）、仕入コストの上昇等の影響もあり、営業利益は2億1千万円（同20.1%減）となりました。

### 不動産事業

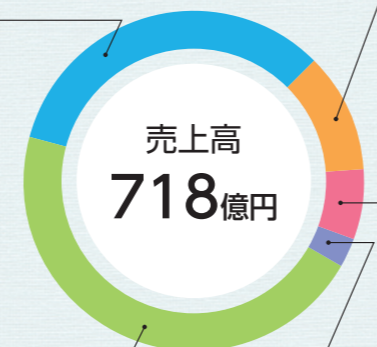
売上高構成比  
2.6%



売上高 **18億円**  
(前年同期比 1.3%減)

営業利益 **11億8千万円**  
(前年同期比 4.4%減)

不動産賃貸は、売上高は18億円（前年同期比1.3%減）、租税課金等の増加もあり、営業利益は11億8千万円（同4.4%減）となりました。





化成品  
事業部

現場発泡ウレタンフォーム用  
厚さ計測システム“アツミエル”を提供開始

化成品事業部は、マンションやビルのウレタン吹付断熱工事における検査品質の向上と作業の効率化を目的とした、現場発泡ウレタンフォーム用厚さ計測システム“アツミエル”を開発し、本年10月よりシステム提供を開始しました。  
従来の断熱材の厚さ検査は、任意の数カ所を検査員が手作業で計測していましたが、“アツミエル”を活用することで施工面全体の厚さを簡単に可視化できます。厚さ検査の精度向上、検査工程の簡略化や省力化を図ることで、建設業界でのDX推進・人手不足問題の解決に貢献してまいります。

「アツミエル」の仕組み  
(イメージ)



“アツミエル”の概要紹介ページ  
[https://www.kurabo.co.jp/news/newsrelease/20240627\\_1224.html](https://www.kurabo.co.jp/news/newsrelease/20240627_1224.html)

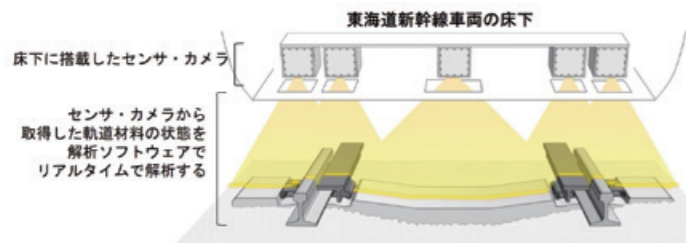
東海道新幹線の高速走行中に  
軌道材料の状態を計測

環境  
メカトロクス  
事業部

国内初! JR東海と  
「軌道材料モニタリングシステム」を共同開発



環境メカトロクス事業部は本年3月、東海旅客鉄道株式会社(以下、JR東海)と共同で、東海道新幹線の軌道を構成する材料の計測を高速走行中に行う国内初のシステム「軌道材料モニタリングシステム」を開発しました。JR東海の軌道計測技術のノウハウと、クラボウのコア技術の一つである高速画像処理技術を組み合わせることで、時速300kmでも軌道材料の状態を正確に計測できます。JR東海では2027年以降の実用開始を見込むとともに、クラボウでは、新幹線のみならず他の鉄道各社の在来線への導入も目指してまいります。



軌道材料モニタリングシステムの  
概要紹介ページ  
<https://www.kurabo.co.jp/el/infrastructure/rail/>



西垣新社長にインタビュー!

第15代社長に就任した、西垣社長にいろいろ聞いてみました!

どんな会社にしていきたいか?

時代が変わっても社会から必要とされる会社、そして社員が失敗を恐れずのびのびと活躍でき、夢を大いに語れる会社にしていきたいですね。

座右の銘は?

木槿不屈

入社理由は?

モノづくりで世の中に貢献する製造業の中で、服飾関係に興味があったため、繊維の営業に携わりたいと考えて、クラボウに入社しました。

趣味は?

ゴルフ・ドライブ

好きな食べ物は?

果物 (特にスイカ)



取締役社長  
西垣 伸二

サステナ  
ビリティ

社会貢献活動

「10-100プロジェクト」  
岡山市で初のコラボ清掃を実施

クラボウグループは、2014年から清掃活動の参加人数10人ごとに100枚の自社製タオルハンカチを保育園などに寄贈する社会貢献活動「10-100プロジェクト」を行っています。本年9月、サッカーJ2リーグのファジアーノ岡山との初のコラボ清掃イベントを岡山市内で実施しました。クラボウグループ従業員やその家族に加え、ファジアーノ岡山スタッフも参加いただき、岡山駅前をスタートし、奉還町商店街やシティライトスタジアム(ファジアーノ岡山の本拠地)までの道中、さらには試合終了後のスタジアム内の清掃活動にも参加し、岡山の皆様と交流しました。

10-100プロジェクトの  
概要紹介ページ

<https://www.kurabo.co.jp/sustainability/society/contribution.html>



奉還町商店街  
ピカピカに!



みんなで  
ファジロードを  
清掃!



シティライトスタジアムで  
ハイ、チーズ!



PICK  
UP

コーポレートサイトでは、会社案内や、ニュースリリースのほか、IR情報をお届けするため、「株主・投資家情報」を開設しております。

「株主・投資家情報」では、当社グループの中期経営計画、IR資料、株式情報、財務情報など、株主・投資家の皆様のお役に立つ情報を提供しています。

統合報告書  
2024



環境  
レポート



企業広告  
シリーズ



面白いこと  
やってやろう。





## 第217期中間配当について

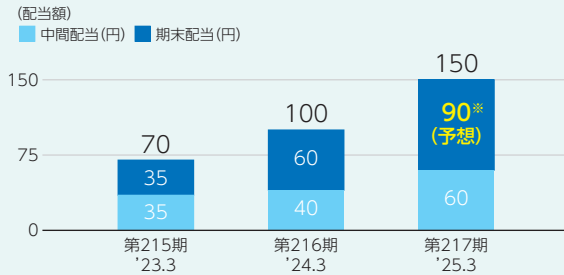
当社は、株主の皆様に対する配当を企業の最重要課題の一つであるとの認識に立ち、継続的・安定的な利益還元を基本としております。配当決定に際しましては、収益状況、企業体質、配当性等を総合的に勘案し、中・長期的な観点から決定していく方針であります。上記の方針に基づき、2025年3月期の中間配当金につきましては、次のとおり実施させていただきます。

中間配当

1株につき60円

※2024年11月7日開催の取締役会において、2025年3月期の期末配当予想を1株につき90円（前回予想に対して30円の増配）に修正しております。

### 【1株当たりの配当金の推移】



## 当社グループの概要 (2024年9月30日現在)

### ■ 当社

創立	本店
1888年3月9日	岡山県倉敷市本町7番1号

### 主要な事業所

区分	名称	所在地	
営業所 および 研究所	大阪本社	大阪市中央区	
	東京支社	東京都港区	
	技術研究所	大阪府寝屋川市	
工場	繊維	安城工場	愛知県安城市
		徳島工場	徳島県阿南市
	化成品	寝屋川工場	大阪府寝屋川市
		裾野工場	静岡県裾野市
		群馬工場	群馬県伊勢崎市
		鳴方工場	岡山県浅口市
		三重工場	三重県津市
熊本事業所	熊本県菊池市		

### ■ 事業所展開国数・拠点数

7カ国・70拠点

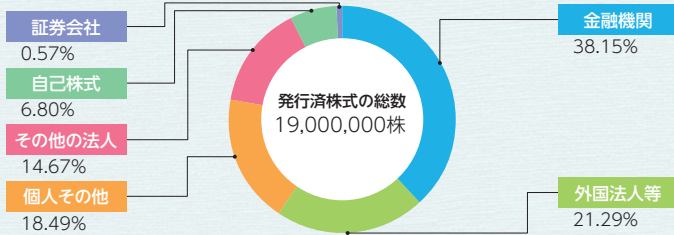


クラボウグループは事業所、生産拠点、関係会社をブラジル、タイ、インドネシアなど国内外7カ国に展開。関係会社およびその拠点の総数は国内を含めて70拠点あり、開発・生産・販売機能を組み合わせたグループネットワークで最適なソリューションを提供しています。

## 当社の株式に関する事項 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
97,701千株	19,000千株	12,377名

### 所有者別株式分布



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	(1) 定時株主総会・期末配当金 毎年3月31日 (2) 中間配当金 毎年9月30日
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL <a href="https://www.kurabo.co.jp">https://www.kurabo.co.jp</a> ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	100株
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)

### 【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。